

紫外線カットフィルム展張が花色に及ぼす影響



紫外線カットフィルム区 ポリフィルム区
グロリオサ ‘サザンウインド’



紫外線カットフィルム区 ポリフィルム区
トルコギキョウ ‘ボヤージュブルー’



紫外線カットフィルム区 ポリフィルム区
ブルースター ‘ピュアブルー’



紫外線カットフィルム区 ポリフィルム区
ダリア ‘黒蝶’



紫外線カットフィルム区 ポリフィルム区
シュッコンアスター ‘ローズスター’

写真 紫外線カットフィルムの展張が花色に及ぼす影響

高知県の主要な花き品目であるグロリオサ、トルコギキョウ、ブルースター、ダリア、シュッコンアスターなどではアザミウマ類に対する化学合成農薬の効果が低下し、防除が難しくなっています。物理的防除資材の紫外線カットフィルムの展張はアザミウマ類の増殖を抑える効果が期待できますが、一部の花き類では紫外線を遮断することで花色が薄くなるとの報告があります。

そのため、紫外線カットフィルム(380nm以下の波長を遮断)およびポリフィルムを

それぞれ施設の内張として11月1日から展張し、目視で花色を比べました。その結果、グロリオサ‘サザンウインド’、トルコギキョウ‘ボヤージュブルー’、ブルースター‘ピュアブルー’、ダリア‘黒蝶’、シュッコンアスター‘ローズスター’では、花色の差異は認められませんでした(写真)。

今後は、防虫ネットを側窓に張ることによる切り花品質への影響について検討します。

(花き担当 門田太志 088-863-4918)